

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、心あたたまる地域の活性化をめざし、住みよいまちを創造していく』

＜ みどりのきずな 第8号「旬」な話題と耳寄り情報！ ＞

地域のさまざまな活動を紹介！ 情報をお待ちしています！！

平成二十年度緑区地域福祉計画推進協議会

―活動内容のまとめと課題と展望―

委員長 岡本博幸

平成二十年度緑区地域福祉計画推進協議会は、年五回開催致しました。活動の確認及び情報交換は、次の四点に集約することができます。

第一は、地区の福祉活動の推進と各地区への共有化です。

地域福祉活動は各地域がそれぞれの実状に即して自助、共助を中心として進めています

土気地区は、焼却ゴミ三分の一減量運動、電話コール、福祉有償運送サービスの提供。誉田地区は、仲良しクラブの草刈りや伐採作業、施設の訪問。また、「障害者の心の健康教室」をテーマとした講演活動等ユニークな活動が報告されています。おゆみ野地区は、第一回おゆみ野四季の道駅伝大会、モデル事業で行われた障害者の交流事業。椎名地区は、食文化体験、太巻き寿司作り、高齢者・障害者・子供の交流体験活動。

これらの活動は一地区の活動として終わる事なく、出来るだけ一緒にやろうとか、その方法の良さを他地区に広めようという話が生まれて来ました。活動の共有化が芽生えて来たのは本年度の大きな成果でした。

第二は、地域福祉活動の推進状況と活動内容の見直しです。

地域福祉計画が作成されて五年になります。フォーラム期としての平成十六・十七年度は、目標を具体的に設定することに取り組み、目標の推進期としての平成十八・十九年度は、パイロット事業を行いました。更に、モデル事業期としての平成二十・二十一年度は、目標活動の充実や、より一層の推進を図って参ります。

本年度は、十八年度以降取り組みの具体化目標がどのような活動によって推進されているかを見直し、整理する機会を得ました。そこで地域福祉計画推進協議会は、十月と一月の二回に渡って話し合いを行いました。ここでは①各項目の活動内容の補足、削除。②新しい活動内容の追加。③取り

組みの課題／留意事項や未着手・未実施の理由（共同開催、他地区においても参考になること、実施可能な活動等の記入）を書き込んで地域福祉計画の現状をまとめました。取りまとめにあたっては、各地区の活動内容を具体的に報告して戴き、まとめたことで、次年度へのステップとなる活動でした。

第三は、福祉ミニ講座による地域福祉活動の推進と課題の検討です。

福祉ミニ講座は会議ごと必ず行いました。本年度は、「緑区民生委員・児童委員の活動の概要について（緑区民生委員・児童委員協議会会長 松田汎司氏）」「いずみ台ローズタウンよろず相談（いずみ台ローズタウン自治会長 浅野裕夫氏、他三名）」「災害時要援護者対策について（高齢福祉課長 白井和夫氏）」「老老介護について（あんしんケアセンター裕和園センター長 鳥山美知子氏）」などです。

講座の内容は地域福祉を推進する上で次のように役立っています

ます。①高齢者、子供、障害者の課題が把握出来たこと。②活動を推進するための共通の方法や問題が把握出来たこと。③活動推進に当たっての協力体制(ネットワーク)が出来たこと。④地区の活動方法について自信と確信が持てたこと等です。

第四は、福祉カレンダーの発行と福祉データの活用です。

本年度は七月～三月まで九回発行されました。福祉カレンダーは緑区における福祉活動の一覧表です。これを見れば、各地区でどんな活動しているかが一目で分かります。またカレンダーには緑区福祉に関する基礎データを載せています。今までに、「高齢者七十五歳以上の割合・学齢前児童(〇～六歳)」「要介護(要支援)者認定者数」「家庭児童相談の状況」「身体障害者手帳交付状況」「緑区の医療施設」「六十五歳以上親族のいる世帯・高齢者単独・高齢者夫婦のみ」「六十五歳以上の高齢者単身者数」等を掲載しました。これは緑区保健福祉サービスクラス課、社会福祉協議会のご努力に

よるもので感謝しています。これらのデータは、ミニ講座の講演や地域福祉推進のための基礎データとして貴重な資料となりました。

今後の課題と展望。

平成二十一年二月二十二日(日)付、朝日新聞一面に「独居高齢者支援 地域に基金」という見出しで、記事が載っておりました。紙面を要約すると、①「一人暮らしの高齢者は全国で約四三二万人と推計される。②今後急増する見込み。③安否確認や日常生活の手助けは町内会など地域のつながりの強さに左右されている。」との内容でした。

緑区においても、安否確認、日常生活の手助け、災害時の非常持ち出しや倒壊家具の備え、火災報知機の設置の有無、アナログから地デジへの切り替え等高齢者に取っては、多くの課題が残されています。

児童生徒にとっては、指導要領の改訂実施に伴い、環境問題・伝統的な言語文化の指導が重視され、二十一年度から移行措置とし

て実施することになっています。このことは地域が一体となつて協力することや、高齢者との結び付きが大事になつてきます。これらが次年度の課題と展望であると思っております。

推進協の委員



推進協の事務局職員



福祉情報プラザ 今後の予定

- 〽 おゆみ野 〽
- 四月五日(日)
- さくらさくさくウォークラリー
- 〽 椎名 〽
- 四月六日～四月十日
- 地域ぐるみの「あいさつ」運動
- 五月初旬
- 田植を体験
- 五月二十五日(予定)
- 〽 菅田 〽
- 四月十一日
- 誉田二丁目八幡神社境内特設ステージにてイベント
- 四月十六日
- ふれあい食事サービス
- ふれあい・いきいきサロン
- 〽 土気 〽
- 四月十九日(日) 十一時～十四時
- 第四回チューリップまつり
- ふれあい広場野馬の里(越智町)

土 気

越智いきいきセンターは、越智はなみずき台（旧角栄団地）内の越智公民館隣にあります。高齢者が生きがいある生活が送れ、健康で楽しく過ごしていただくための施設です。具体的には、高齢者福祉講座の実施、体力低下が気になる方への運動機会の提供（機能回復訓練・グループプレクリエーション）、同好会・団体への部屋貸し、地域の皆様の声を反映させた講演会の実施、子供達との交流の機会の提供、映画会の開催、卓球場の開放などの事業を行っています。また、健康相談・生活相談も随時行っています。その他に、六十五歳以上の方を対象にした「生きがい活動支援通所事業」は、火く土曜日のうち一日、体操や趣味活動等を通して仲間作り・生きがい作りができます。毎週日曜日の午前中は卓球場の開放（卓球台二台）も行っております。

連絡先 千葉市越智いきいき

センター

電話 二〇五―一二九〇

FAX 二〇五―一二九一

各地区 伝言板

椎名

「福祉・こみ懇まつり」実施

二月十五日（日）、椎名小学校で「福祉・こみ懇まつり」が開催されました。ゲートボール大会では和気あいあいの中にも競争心が団結心となり、いきいきとした姿が見られました。

バザー会場では「お久しぶり」「お元気でしたか」など会話も飛び交い、良いふれあいの場にもなり、盛況裏に終わりました。

今年も提供品が多く集まり、地域住民の福祉への関心の高さがうかがえました。

バザーのようす



地域の安全は地域で守ります。

「椎名防犯パトロール隊」発足

椎名地区は住民の防犯意識が高く、今までも、防犯行動などは、PTA主体の「学校セーフティウォッチャー」、有志住民による「地域セーフティ」隊、スポーツクラブの防犯組織、および「わんわんパトロール」などそれぞれのボランティアグループの個々の活動で保たれてきました。

このため、各グループ間の意志疎通を密にし、情報を共有化し、より効率的な防犯と啓蒙活動するための組織「椎名防犯パトロール隊」が二月に発足しました。

土 気

第二十六回 土気地区

小中学生マラソン大会

土気・越智・土気南・大椎中学校区青少年育成委員会主催で、一月十日（土）土気「創造の杜（もり）」にて恒例のマラソン大会が開催され、約七六〇名の参加者とその保護者・支援者が多数集合し、好天の中盛大に行われました。

当日は地元在住の二〇〇七年

マラソン大会での記念撮影



の名古屋国際女子マラソンの優勝者橋本康子さんがゲストとして参加され子供達と一緒に走り、記念撮影におさまったりと大会を盛り上げていただきました。子供達も大きな声援を受け寒風の中を走り切り、好記録も続出しました。走った後は温かい「おしるこ」を食べて楽しく充実した時を味わったようです。

「心の健康教室」

二月八日、緑区鎌取コミュニティセンターで、「心の健康教室」として、「当事者が地域で自分らしく暮らすには」のテーマで開催されました。主催者は千葉市保健福祉局障害者自立支援課及びNPO千家連・千南会で、参加者は市議員、市関係者、精神障害者家族会、当事者及び一般市民の約一二〇名で大変盛況でした。

講師は長谷川信さん（グループ・ゆーもあーず）、国分智行さん（NPOぴあ・さぼ千葉）の二人で、地域で暮している当事者です。精神障害者が、この病をもちながら実際に地域で暮らしている実態を率直に語ってもらいました。そして地域で暮しているく上で障害となっている、大小の課題を引き出して、現在地域の支援で「不足している面」について、対策を「自助」「共助」「公助」に分けて、会場の皆様が、それぞれの立場で真剣に活発な質疑応答を行いました。大きな成果があった、「心の健康教室」でした。

会場のようす



「好評だった手話教室」

千葉市緑区のいきいきプラザは、誉田町のまん中に建っています。

去年の四月下旬から今年の一月下旬まで、『手話はたのしく聴覚者のみなさんと交流しよう』というテーマで、初めて手話教室で講師を担当しました。緑区や他区からも参加してください、二〇名サークルに通っている方が二人。また、初めて、この手話講座に参加した人で、手話のできている人もいました。

手話についてのレベルがまちまちの中で指導は大変でしたが、

とても実りのあるものになったと思います。

皆さんの表わす手話コーラスがとても良く出来ました。

「私たちは、耳が聞こえないので、うたやコーラスには、興味がありません」、これは淋しい事だと思います。

リズムを取ったり、見よう見まねで、私たちも一緒になって覚えられたら楽しくなりますね。また来年も手話教室を行ないます。是非、皆さんもご参加下さい。

～ おゆみ野 ～

AED救命救急講座

一月二十二日（木）

二十九日（木）

緑区消防署の署員を講師に三十七名の方々が参加し、一人ひとりが人工呼吸やAEDの機械の操作を実施。汗をかきながら真剣に学んできました。

ランチのつどい

二月十二日（木）

八十名の高齢者の方々が参加し、お弁当にお味噌汁を頂きなが

ら楽しいひと時を過ごしました。ボランティア・スタッフ三十五名もそれぞれのグループに入り懇親を深めました。

四季の道駅伝大会

二月十五日（日）

小学生三年生から六年までの児童七十六チーム（三八〇名）が、おゆみ野の四季の道をそれぞれのタスキをバトンに元気に走りました。一チームの脱落もなく、七十六チームが完走しました。ボランティアの四〇〇名以上の皆さんに支えられ無事終了。おゆみ野のパワーの凄さを感じました。

◆◆編集後記◆◆

編集部では、他の地域での福祉活動の内容や「ふれあいの場」づくりの方法などを知り、自分達の地域に合った活動の参考にするための情報交換の場の文面にすることを志しています。

より充実した情報小冊子にするため、皆さんが実施されているどんな活動でも結構です。是非お知らせ下さい。（H）